かしわざき

教育センター・育成センター所報

GALILEI

筑波大学附属小学校教諭　山本良和様

文部科学省教科調査官　田村　学様

岡山大学教授　佐藤　暁様

燕市立分水小学校長　小林恵子様

今月の主な講師陣

CONTENTS

○今月の巻頭言 …… Ｐ１
　★道徳の教科化に向けて　　教育センター運営委員
　　柏崎市立比角小学校　校長　若林　勝
○教育センターだより …… Ｐ２
　★アクセス（教育研究班） …… Ｐ２
　★プロジェクト Ｋ（科学技術教育センター） …… Ｐ６
　★心の窓（教育相談班） …… Ｐ１０
○青少年育成センターだより …… Ｐ１１
○１月の行事予定表 …… Ｐ１３
○所員随想「つれづれ」 …… Ｐ１３
　★感性を磨く　　ふれあいルーム指導員　神林　治男

平成２５年１２月号

柏崎市立教育センター　柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

道徳の教科化に向けて

教育センター運営委員
柏崎市立比角小学校
校長　　若林　　勝

いじめ問題などの規範意識や倫理観の低下が問われています。

新聞報道によると、平成 27 年度にも道徳の教科化が実現とのことです。教科書の問題や評価方法については議論があるようですが、第一次安倍内閣の教育再生実行会議で断念した道徳の教科化は、今回はかなり現実味を帯びてきています。この流れを学校現場ではしっかりと受け止め、道徳教育の充実に取り組んでいくことが大切だと考えています。

まず、各学校では確実に道徳教育を行っているか点検してみる必要があると思います。学習指導要領では、道徳教育を各教科、特別活動、総合的な学習などの教育活動と関連付けながらその要となる道徳の時間の充実を図ることを強調しています。したがって、道徳教育は教育活動全体で取り組むことが求められ、学校教育の根幹として位置づけていく必要があります。単発の道徳の授業だけでなく、学校の方針を明確にして、教育活動と道徳の時間を関連させるなどして、継続的に道徳教育や心の教育の充実を図ることが大切です。

次に、道徳教育が目指していることを再確認する必要があると思います。道徳教育は子どもたち一人一人が自分自身や未来を見つめ人間としてより良く生きるための道徳性の育成を目指しています。すなわち、道徳教育の取組から道徳的価値の自覚を深め、様々な教育活動を通して道徳的実践力を育て、自己実現できる人間に育てることが大切です。したがって、道徳の授業では道徳的価値に照らして自分自身をしっかり見つめ、課題を見付けて意欲を持って取り組む力を育てていく必要があります。さらに、他の教育活動と関連づけながら、自己教育力の向上を図って行くことも大切です。

これらの道徳教育の充実はこれまでの道徳の時間の充実で十分に対応できたと思います。しかし、今日大きく変化したことは、例えば叱ることができず、ほめることも苦手な親など、家庭の教育力の低下が著しいことや子どもたちを取り巻くネット社会の弊害など社会が著しく変化したことにあります。今回の道徳の教科化の動きを契機として、道徳教育の一層の充実を図っていきたいと考えています。

■2つの師範授業

学ばせたいことを子ども自身が発見していく授業に！

◆11/26(火) 算数数学師範授業

講師　筑波大学附属小学校　教諭　山本　良和　様

筑波大学附属小学校の山本良和先生をお招きしてのこの講座は、半田小学校を会場にして行いました。山本先生は「教師が学ばせたいことを、子ども自身が発見し、解決して行く授業」を根幹に、師範授業と講義をされました。先生の方から「今日の課題は○○だよ」と提示することは基本ですが、さらに一歩進めて、子ども自身が疑問を発見しその問題意識を周囲の子どもと共有、学びを進めて行くことの重要性を語っていらっしゃいました。

児童に問いかける山本先生

参加された先生方の感想には「子どもの興味を引き出しながら問題意識を高めていく授業技術が参考になりました。」「見えないものをみることの必要性や子どもたちのつぶやき、表情、しぐさなどから授業を展開していくことの素晴らしさがよく伝わってきました。」等、自身の指導方法を進化させていく意欲が感じられるものが多くありました。

「この１時間で子どもの姿を変える…」それが教師

◆11/29(金) 中学校英語師範授業

講師　燕市立分水小学校長　小林　恵子　様

分水小学校長 小林恵子先生をお招きしてのこの講座は、南中学校を会場にして行いました。

小林先生は「授業とは、最初の姿と終わりの姿が変わっていなければならない」という教育哲学をおもちです。実際、子ども達のコミュニケーションの様子は授業の終盤で一層活性化されていました。

また、「学び合いで授業を進める際には、どの子にもきちんとした対話を成立させてあげることが大切。」と言われ、着座スタイルでの交流も取り入れていらっしゃいました。

活気あふれる小林先生の授業

参加された先生方の感想には「生徒と教師、生徒同士がたくさん関わる授業で、生徒たち一人一人が生き生きと活動している様子が印象的でした。」「楽しさの内にある緻密な計画、きちんと単元を構成し評価を行うことの大切さを学びました。」等、今後の実践意欲の向上につながる記述が多くみられました。

■2 つの授業づくり講座

学ばせたかったことを学ばせることができたか？

◆12/3(火) どの子もこぼれ落とさない授業（公開授業　比角小学校　渡邉玉緒教諭）

講師　岡山大学教授　佐藤　暁　様

岡山大学 佐藤暁教授をお招きしてのこの講座は、比角小学校を会場にして行いました。研修に先立ち、５年生の国語「天気を予測する」の公開を渡邉玉緒先生から行っていただきました。問いに対して答えていく中で次の問いをあげていくという工夫を取り上げた内容でした。

授業中の児童の様子を記録する佐藤教授

佐藤先生は、授業について「いい授業、悪い授業という言葉ではない。学ばせたかったことが明確であったか？それに向かう学習課題は合っていたか？どの子にも学ばせることができたか？できていたならその要因は？できていなかったらその要因は？」について、振り返ることの重要性を語っておられました。

参加された先生方の感想には「子どもたちに何を学ばせたいか、そのための課題をどうするかを明確にした授業に努めたいと思います。」「子どもの姿から語る研修会の大切さを再確認しました。」等、校内研修の在り方も含め、今後の実践に生かしていこうとする内容が多く記述されていました。

２１世紀型学力とは？

◆12/12（木）21 世紀型学力とは

講師　文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官　田村　学　様

文部科学省 田村学調査官をお招きしてのこの講座は、「21 世紀型学力とは」というテーマで行いました。

子ども達が社会で活躍していくころ、現存の６５％の職種はなくなると言われる昨今。だからこそ、能動的な協同学習、汎用的能力、価値の創造と行動が必要と熱く語られました。

講師の田村 学 調査官

また、これらが実際に具現化されているいくつかの授業場面を画像で紹介され、実際の子ども達の学びが授業を通して深まっていく様子に触れることができました。

参加された先生方の感想には「探究と協同という端的な言葉でこれからの授業を考えていきます。」「実社会で活用できるジェネリックスキルを身に付けさせるために、思考ツールを適切に用いた授業が有効と確信しました。」「子どもたちが主体的に考える授業を作ることに新たな意欲をいただきました。」等、創造的な授業づくりへ向かう内容が数多く記述されていました。

■2 つの保健講座

正しい知識をもって対応を！

◆11/20(水) 食物アレルギーとエピペンの使用について

講師　小児科すこやかアレルギークリニック　院長　田中　泰樹　様

小児科すこやかアレルギークリニック院長の田中医師をお招きしてのこの講座は、年度当初の計画に従って「食物アレルギーとエピペンの使用について」というテーマで開催しました。そこでは食物アレルギーで死亡することがあることを重く受け止め「誤食させない」「誤食時の対応を正しく理解」「必要最小限の除去という考え方も大事」等について、ていねいな説明がありました。

エピペンの使い方を指導する田中医師

その後、県内外の症例について詳しく紹介するとともに、それまでの経緯と対応について振り返りました。その中では、卵、牛乳、大豆、小麦のアレルゲンや、アレルギー反応が起こるメカニズム、検査方法などについても科学的な説明を行っていただき、発症のメカニズムをわかりやすく理解することができました。

講座ではさらに、実際にエピペン（アレルギーショック防止補助治療剤）を太ももに打つ際にあわてないようにするために、音の出るダミーを使用し、田中先生自ら実演するなど、現場の危機管理に対応した内容もありました。

参加された先生方の感想には「子どもと関わる全ての職員にとって必須の研修だと思いました。」「早いチームワークでの対応が大事だと分かりました。」「命を預かる者として、毎年研修すべき講座だと思います。」等の記述が多くありました。

口の中から見えてくるもの

◆12/4（水）歯の健康講演会

講師　ひまわり歯科医院　院長　鈴木　公子　様

ひまわり歯科医院院長の鈴木医師をお招きしてのこの講座は、歯科にかかわる講座ではありましたが、その内容は生き方にまで及ぶものでした。そこでは、先生の歯科治療の方針として「現象だけを診て対応しても本質的なことは何も変わらない」という基本的なスタンスを話されました。例えば口の中の炎症の要因に食生活が大きく絡んでいることなどです。普段の生活からの見直しで本当の意味での歯の健康が保たれることを自身の経験も踏まえ紹介してくださいました。

講師の鈴木医師

参加された先生方の感想には「将来につながる生活習慣をより望ましいものにするために、日々子どもに関わる立場として、継続的に正しい情報を発信していく大切さを改めて感じました。」「今の子どもたちへの大切な指導内容を、たくさん学習させていただきました。」「上流医療を目指すことは、学校教育でも通じるところがあると思いました。」等、今後の保健指導の向上につながる内容が多く記述されていました。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆コンテンツサーバ（スクールオフィス）

登録日	資料名
11/21	NO30_中学校時数管理.pdf（スクールオフィス中学校時数管理のテキスト第1版）
12/4	NO21_小学校成績管理設定編.pdf（第5版） NO24_小学校成績管理指導要録様式2作成.pdf（第5版） スクールオフィス成績管理の流れ小学校.pdf
12/5	NO25_中学校成績管理設定編.pdf（第2版） NO28_中学校成績管理指導要録様式2作成.pdf（第2版） スクールオフィス成績管理の流れ中学校.pdf

◆コンテンツサーバ（教育委員会資料）

登録日	資料名
12/16	ALT News Letter 第 25 号

■ 情報関連講習会のご案内

1 月に実施される講習会

◆H26.1.17(金) デジタルアルバム作成入門

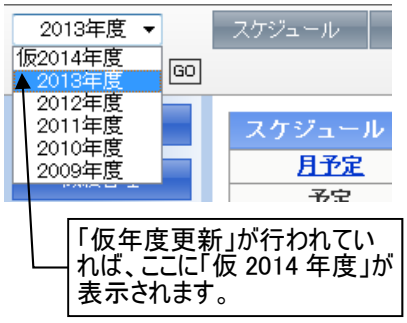
デジタルカメラで撮影した画像を使って，CD や DVD にデジタルアルバムとしてまとめる手順について学習します。Windows Live ムービーメーカーで実施します。写真に動きや切り替え効果を与え，BGM などを付加してムービーとして仕上げ，それを DVD に書き込むところまでを扱います。

◆H26.1.30(木) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その8

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

■ スクールオフィス情報

仮年度更新は実施しましたか？



スクールオフィスでは、次年度の準備のために「仮年度更新」機能が用意されています。これは、次年度の行事予定や年間校時などを準備しておく領域を作成するものです。仮年度更新を行わない場合、新年度になってから全ての登録を行わなければなりませんが、仮年度更新を行っておくことで、事前に登録しておくことができます。「年度更新」を実施する際、仮年度に登録しておいた行事などの情報を新年度の情報として引き継ぐことができます。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報（Windows）

マイクロソフトより、12 月 11 日付で 12 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が5件、「重要」が6件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

研修会・事業の様子

○ 要請授業『聖ヶ鼻地層学習』（１１月２６日実施）柏崎小学校６年生

◇内　容

風速２０m前後の強風の日でしたが、聖ヶ鼻の地層学習を行いました。あいにくの天気だったため、現地での活動は子どもたちの安全を考え、ほとんどがバスの中からの観察でしたが児童は「本当に縞模様なんだ。」「そんな長い歴史の上に自分たちは今立っているのかあ。」と話していました。自然の産物を間近でみるのは違います。実物にかなうものはありません。

このように、現地学習会を企画するというのはとても大事なことだと思います。来年度もぜひ、児童によい経験をさせるために現地・野外学習会を積極的に計画していただきたいと思います。

児童の感想

「悪天候のため途中で帰ることになりましたが、はっきりとした地層をみることができてよかったです。長い時間をかけて自然にできあがったものはいいなあって思いました。」

○ 小６「電気の利用」（１２月１２日実施）

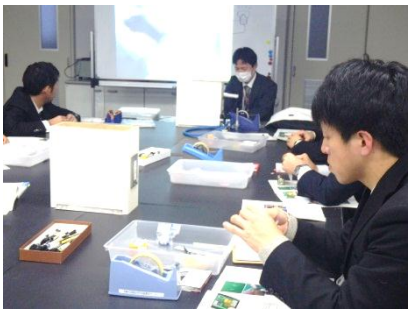
◇講　師　渥美　猛　教諭

（春日小学校在籍　上越教育大学大学院Ｍ２・ＣＳＴ受講生）

◇内　容

「手回し発電機」「コンデンサ」「発光ダイオード（ＬＥＤ）」など教材がたくさん必要な単元です。児童に何を学ばせたいかを考えながら組み立てた単元計画の例と、児童が喜んで取り組むものづくりをいくつか紹介しました。参加した先生方と、ものづくりをしながら授業での活用の仕方を語り合いました。

講師　渥美　猛　教諭



ものづくり「発泡スチロールカッターづくり」

参加者の感想

「研修で作った発泡スチロールカッターはとても実践的で児童も喜びそうなものだったので、さっそくやってみます。風力発電の教材紹介では電気を作る大変さを知ることができました。電気に対する考え方や知識をもたせるため授業のイメージができました。」

○ 要請授業『放射線教育』（１２月１９日実施）鯨波小学校６年生

◇内　容

「正しく知って、正しく恐れる」、これをキーワードに自然放射線と人工放射線、放射線の特徴などを霧箱や計測器を使って学習しました。放射線の学習は柏崎刈羽地域で生活する児童生徒には特に必要な学習です。年間指導計画にはあるけれど、まだ実施していない場合

は年度末までに行うようにお願いします。各小学校に配られたＣＤ－Ｒには教員用の研修に使えるデータと、児童用のプレゼンデータが入っています。ご活用ください。

いきいきわくわく科学賞2013 審査結果報告

１０月末から１１月にかけていきいきわくわく科学賞２０１３（第４９回新潟県児童生徒科学研究発表会）の審査が行われました。県内からは３４９作品の応募があり、柏崎刈羽地区から応募した児童・生徒のみなさんの作品は以下のような賞を受賞しました。応募してくださった児童・生徒のみなさん、ご指導に当たられた先生方、大変ありがとうございました。

学校名	部門	学年	研究者	研究題目	指導教師名	賞
柏崎市立柏崎小学校	小学校 中学年	4	武石　悠太	しゃぼん玉の研究	木村　貴之	奨励賞
柏崎市立半田小学校	小学校 中学年	4	堀井　佑亮	水道水の塩素についての実験	小山　聡子	奨励賞
柏崎市立剣野小学校	小学校 中学年	3	西潟　翔	ボールのはね方	竹内　暁美	奨励賞
柏崎市立槇原小学校	小学校 中学年	4	村川　広樹	レモン電池の研究	高井　那弥	奨励賞
柏崎市立荒浜小学校	小学校 中学年	3	菊池　天斗	いろいろな気おんをはかる	後藤　貴子	奨励賞
柏崎市立荒浜小学校	小学校 中学年	4	遠山　暖大	アルコールでぬらした紙は水の上でどう動くか	油谷　桂士	奨励賞
柏崎市立鯖石小学校	小学校 中学年	3	雫川　大翔	回したときに星になるコマのもようを見つけよう！	山田　桂子	奨励賞
柏崎市立比角小学校	小学校 高学年	5	本間　啓	花火の色について	若林　亮一	奨励賞
柏崎市立剣野小学校	小学校 高学年	5	田村　柚子	カナヘビとトカゲ お気に入りの場所は？	山崎真由美	奨励賞
柏崎市立剣野小学校	小学校 高学年	6	小林　悠	蒟蒻の謎　２０１３ ～こんにゃく芋の巨大化～	西川　祥雄	奨励賞
柏崎市立荒浜小学校	小学校 高学年	5	久住ふうり	氷を長持ちさせるには	松本　直紀	奨励賞
柏崎市立田尻小学校	小学校 高学年	6	武江　真哉	「混ぜるなキケン」家庭内にある酸性とアルカリ性調べ	河村　亮太	奨励賞
柏崎市立田尻小学校	小学校 高学年	6	多々蒼一郎	射的で成功する方法～自作の道具を使用して実験する～	河村　亮太	奨励賞
柏崎市立鯖石小学校	小学校 高学年	6	行田　猛	メダカはどの色を好むか	郡司　哲朗	奨励賞

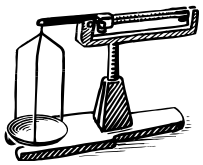
柏崎市立東中学校	中学校	3	山﨑　良太 内山樹沙己	小型風力発電機	長谷川明彦	奨励賞
新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	中学校	3	野上　真依 髙木　麻由	くっつきたがる消しゴム	小田部　悠 藤川　泰彦	奨励賞

県下生物標本展結果報告

今年度の県の標本展には柏崎・刈羽地区から昆虫・植物・動物標本・自然科学写真合わせて１４作品が出品されました。審査の結果、以下の賞を受賞しました。おめでとうございました。

部門	学校名	学年	氏名	テーマ	賞
植物	柏崎市立田尻小学校	5	岸　弘貴	池の中の植物とそのまわりのトンボ	努力賞
	柏崎市立大洲小学校	6	平沢　麗奈	柏崎市水源地の植物　春～夏	金　賞
	柏崎市立第二中学校	1	阿部　雄輝	東山林道（芝峠）道路わきの植物	努力賞
	柏崎市立第一中学校	3	村田　柾	柏崎の植物～山地と平地の比較～	努力賞
	柏崎市立第一中学校	3	朝比奈　聖弥	柏崎に生息する植物～身近な植物と山地の植物～	努力賞
昆虫	柏崎市立比角小学校	6	山﨑　智晴	柏崎市を中心としたカミキリムシ及び甲虫類の標本	金　賞
その他動物標本	柏崎市立二田小学校	2	池田　百花	貝のひょう本	努力賞
	柏崎市立半田小学校	3	矢代　和	柏崎の貝	銀　賞
	柏崎市立半田小学校	3	小池　蘭太	かしわざきの海でとれる貝がら	努力賞
	柏崎市立半田小学校	6	犬井　慧美花	柏崎海岸の打ち上げ貝の生息水深	金　賞
	柏崎市立日吉小学校	6	川村　和輝	柏崎の貝標本と研究	金　賞
	柏崎市立鏡が沖中学校	1	大橋　寛人	魚の歯・耳石標本	長岡市教育長賞
	柏崎市立瑞穂中学校	3	川村　翔太	柏崎の小型貝類	金　賞
自然科学写真	柏崎市立大洲小学校	3	近藤　諒平	キアゲハの羽化	努力賞

連絡



☆冬休み中にセンターの備品整理を行います。センターから借りた物品のある学校は、ご返却をお願いします。また、理科主任の先生方も学校の準備室をすっきり整理して、気持ちのよい理科室で新年を迎えましょう。

☆学校研科学教育部に所属している先生方へ連絡です。「現場が生んだ理科指導上の工夫」第４２集の原稿提出締切が近づいてきました。締切は平成２６年１月１４日（火）です。田尻小学校佐藤隆雄教諭までご提出ください。日々の実践のちょっとしたネタがたくさん集まるといいなあと思います。よろしくお願いいたします。

１月の予定

○要請研修　放射線教育　剣野小学校５年生・荒浜小学校５年生

◇日　時　　１月９日（木）　１月２２日（水）

◇会　場　　原子力広報センター

○生活科研修会『とうふづくり』

◇日　時　　１月１６日（木）

◇会　場　　教育センター

◇内　容　　手作りとうふを作ってみましょう。学級畑で作った大豆が使えたら最高の思い出作りができますね。

教材紹介

☆かんたん前線モデル☆～中学校２年「天気の変化」～

1　材料

○チャック付Ａ５クリアケース(ソフトタイプ)

○ダブルクリップ　２つ

○着色料

○お湯

安くて、簡単、わかりやすい！
寒気と暖気のまじわり方が観察できる。これなら、準備もしやすくていいですね。

2　作り方

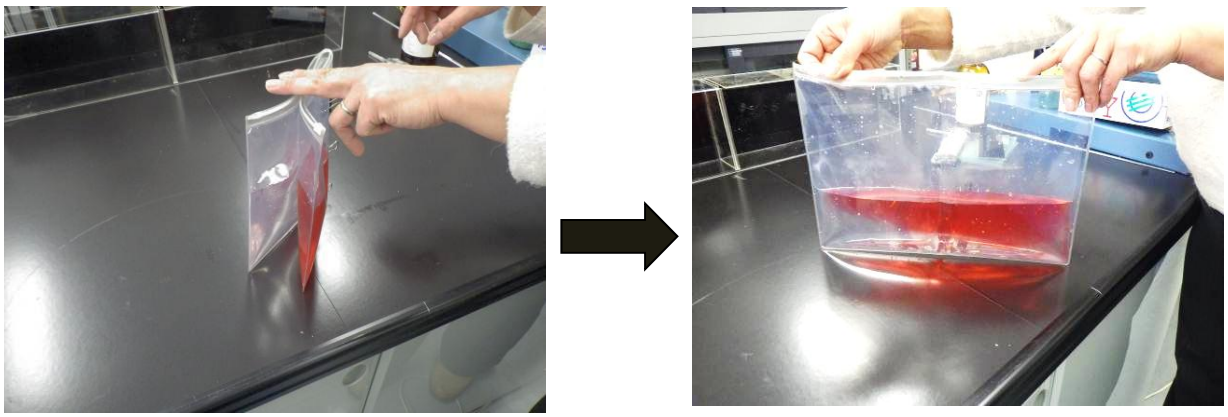
①クリアケースを２つに折り、ダブルクリップで止めてしきりをつくる。

②それぞれに同じ温度の水を入れ、一方に着色料を加える。

③着色料を加えた方にほんの少しお湯を入れる。(もとの水との温度差１～３℃くらい)

☆熱湯入りのポットのボタンを一瞬押す程度のお湯の量。

④クリップを外しケースを広げると、ゆっくりと色水が上部に移動することが観察できる。



１５～２０秒くらいかけて広がっていく様子が観察できる

平成２５年度　柏崎市立教育センター　　　　　　教育相談班だより　１２月号

心の窓

No.１７２

〒945－1355
柏崎市大字軽井川４８０３－２
TEL　0257(23)4591（代表）
FAX　0257(23)4610
E-mail　soudan@kenet.ed.jp

☆ふれあいルームより☆

陶芸展を開催

３回の陶芸体験で作った作品を、教育センターの玄関に展示し、大勢の皆さんから観ていただきました。

観てくださった方からは、「うまくできたね」「外国で買った花瓶のようだ」「形や色がすばらしい」「秋刀魚が食べたくなるなぁ」「家の食器棚にあるような作品だ」「毎年、どんどんと上手になっていくね」などの声を聞くことができました。

そば打ちに挑戦！

日本の伝統的な年越しそばを、一足早く自分で打ってみる体験活動をしました。講師の嶋岡先生から指導を受けた後、そば粉と小麦粉を混ぜて篩い、ふのりを加えて、しっかりと力を入れて練りました。ここが一番大切なところで、手が痛くなるくらいがんばりました。練った材料を延し棒で伸ばし、最後に切りました。うまく切れたもの、きしめんのように切れたものなど、個性的なそばになりました。ゆで方や盛り付け方も体験しました。

天ぷらまで揚げて、天ざるそばができあがりました。子どもたちは、そば打ち体験が楽しくでき、手作りのおいしいおそばを味わうことができました。

（ふれあいルーム指導員　　神林　治男）

◇◆

教育相談班　1月の予定

≪カウンセリングルーム≫

いろいろ体験グループ（SST）

１０日（金）16:30～17:30　小学生Ａグループ
１７日（金）16:30～17:30　小学生Ｂグループ
２４日（金）16:30～17:30　小学生Ｃグループ
３０日（木）18:30～20:00　中学生第１グループ
３１日（金）18:30～20:00　中学生第２グループ

≪ふれあいルーム≫

７日（水）　後期後半通級開始
１６日（木）　スケート教室 ②
9:30～11:30 アクアパーク
２３日（木）　ヨガ教室

育成センター通信

0844

柏崎市青少年育成センター
〒945-1355 柏崎市大字軽井川 4803 番地 2
TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610
ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

青少年育成委員による街頭育成活動の状況

	２３年度	２４年度	２５年度 （４月～１０月）
育成委員による育成活動	９０回・４９６人	９８回・４９９人	７６回・４８７人
育　成　委　員　以　外	３３回・５５５人	２９回・４５０人	３４回・２８６人
声　か　け　状　況	２，５５３人	２，８２７人	５，１４７人

青少年育成委員による街頭育成は、10 月末において例年のおよそ１年分の活動が実施されました。

これは、天候が悪くなる冬季間を避けた実施計画も一要因ながら、例年以上に育成委員の活動が熱心であったことが主要因です。

育成委員以外の活動人員が減少したことは、ＰＴＡの皆さんが参加する育成活動を負担軽減のため半数に減じたことによります。

積極的な「声かけ」の奨励により、子どもたちへの声かけが多く行われました。

育成活動報告から

◎　**駅、構内、トイレ等はきれいでゴミもなく清掃されていて気持ちよかった。**

◎　駅地下道で自転車に乗っている大人の男の人がいたので、危ないから降りるように注意したが、怒ったような顔で返事もせずに帰った。また、火のついたタバコの吸殻が１本捨ててあった。火を消して拾ったが、大人の行為と思う。「このような非常識な人、大人に、高校生がならないように・させないように」願い、わたしたちは育成活動を進めていかなければならないと思う。

△　ドアが閉まり電車が動く寸前、小学生ぐらいの女の子がドアに手を掛け開けようとしていて、みんなが「危ない！」と声、車掌さんがすぐに電車を止めてくれたので大事にはならなかったが、恐ろしいことだった。

△　服装の気になった男子生徒がいたので声をかけたが直さなかった。怖くてきつく言えなかった。

○　高校生から、「寒いのにご苦労さま」と声をかけてもらってうれしかった。

△　店内のマッサージ機に、高校生がかかっていて迷惑を感じていた電気店の話があった。駅南の書店等の移転で、学生たちの立ち寄る場所に変化が出ているようだ。

○　ゲーム店の店長の話では、平日は子どもは少ない。土日祝日になると結構な人数が来店するが、小中学生には、午後６時になると声をかけて、帰ってもらっているとのこと。

△　電気店店長より、最近また万引きが増える傾向にある。以前は高額な商品を転売、換金目的で万引きしていたが、最近は安価（1000 円以内）の小物の被害が多い。行動が怪しい客には、店員が付いて声かけなどをして防止に努めているとのこと。

△　国道８号線で横断歩道があるにもかかわらず 10mほど手前で横断しようとしていたので、声をかけて横断歩道を渡ってもらった。その近くで、小３くらいの子どもを連れた父親が、子どもを促して横断歩道のないところを渡っていたのには驚いた。

◎　柏崎駅構内で電車を待っている高校生の大部分が（約 40 人、その内半数は女子生徒）スマホを操作していて、育成委員が近づいて声かけ挨拶をしても、夢中になっていて返事が返ってこない。**危険で無謀な行為**であると思う。被害に遭っても分からないでいるかと思うと心配になった。

◎　歩きながらスマホを使っている子が多いので、普段の育成のときも声がけしたいと思う。

○　高校生が自転車に乗って地下道を走行していたので注意したら、素直に降りてくれた。
一方、一般青年が二人乗りしていたので注意したが、降りずに逃げていった。残念。育成委員の非力を感じた。

○　閻魔堂入口付近で迷子を発見。うつむいて泣いていた姿で迷子と判断し、名前住所を聞いた。誰も相手にせず心細い思いだったろう。**育成委員の立場の眼**だから気がついたのだと思う。幸い数分後に親を発見した。（えんま市）

○　ゲーム店の食堂の近くで高校生が数名話をしていた。周囲で大人が喫煙している場であり、18 歳未満はゲームセンターに入場できない時間が近づいていたので、早く帰るように声をかけた。女子が２名混じっていたことが気になった。強く言えないのが残念。

○　ホーム内ベンチで３名の高校生が、１本のタバコを廻し吸いしていたが、電車入線直前だったので声掛けできなかった。

△　小学校区の街頭指導で各公園を回ったところ、タバコの吸殻、紙くず、ポルノ雑誌などが捨ててあったので処分した。また、他の公園内にスコップの柄が放置してあったので片付けた。どの公園も全体的に暗いイメージを受けた。節電が目的かもしれないが、防犯面から見るともう少し明るい環境が望ましい。

１２･１月の公演予定

今回のテーマ　「大人に知らせる勇気」

○ １２月２４日（火）　比角第一児童クラブ
○ １２月２６日（木）　にしやま児童館
○　 １月　７日（火）　枇杷島児童クラブ
○　 １月１８日（土）　中央地区ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ

		平成26年1月の行事予定表
日	曜	研修・行事・会議
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	相:班会議13:00-
7	火	ふ:後期後半通級開始
8	水	
9	木	
10	金	相:いろいろ体験グループ(小A)16:30-
11	土	:
12	日	
13	月	成人の日
14	火	
15	水	
16	木	研:日本語の正しい使い方(産大203)15:10- ふ:スケート教室②9:30～11:30アクアパーク 科:生活科「とうふ作り」15:00-
17	金	研:全校体制で進める生徒指導 情:デジタルアルバム作成入門 相:いろいろ体験グループ(小B)16:30-
18	土	**研:楽しく学ぼう！ドナルド・キーンの世界 (ドナルド・キーン・センター柏崎)9:30-**
19	日	
20	月	
21	火	研:技術デジタル教科書＆教材研究 14:20-
22	水	研:家庭科デジタル教科書＆教材研究 14:20-
23	木	研:特別支援学級の基礎基本④ ふ:ヨガ教室(予定)
24	金	研:英語科教材研究法 相:いろいろ体験グループ(小C)16:30-
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	研:指導補助員・介助員研修④17:15-
30	木	情:フリQ&A 相:いろいろ体験グループ(中①)18:30-
31	金	研:社会科教材研究法 相:いろいろ体験グループ(中②)18:30-
研･教育研究班、科･科学技術教育、相･教育相談班		
ふ･ふれあいルーム、情･情報教育研修、育･育成センター		

所　員　随　想

感性を磨く

ふれあいルーム指導員　神林　治男

先日、子どもたちと３回の陶芸体験をしてきました。事前に「どんなものを作りたいのか考えておきましょう」と投げかけておきましたが、みんな作りたいものを考えてきてくれました。

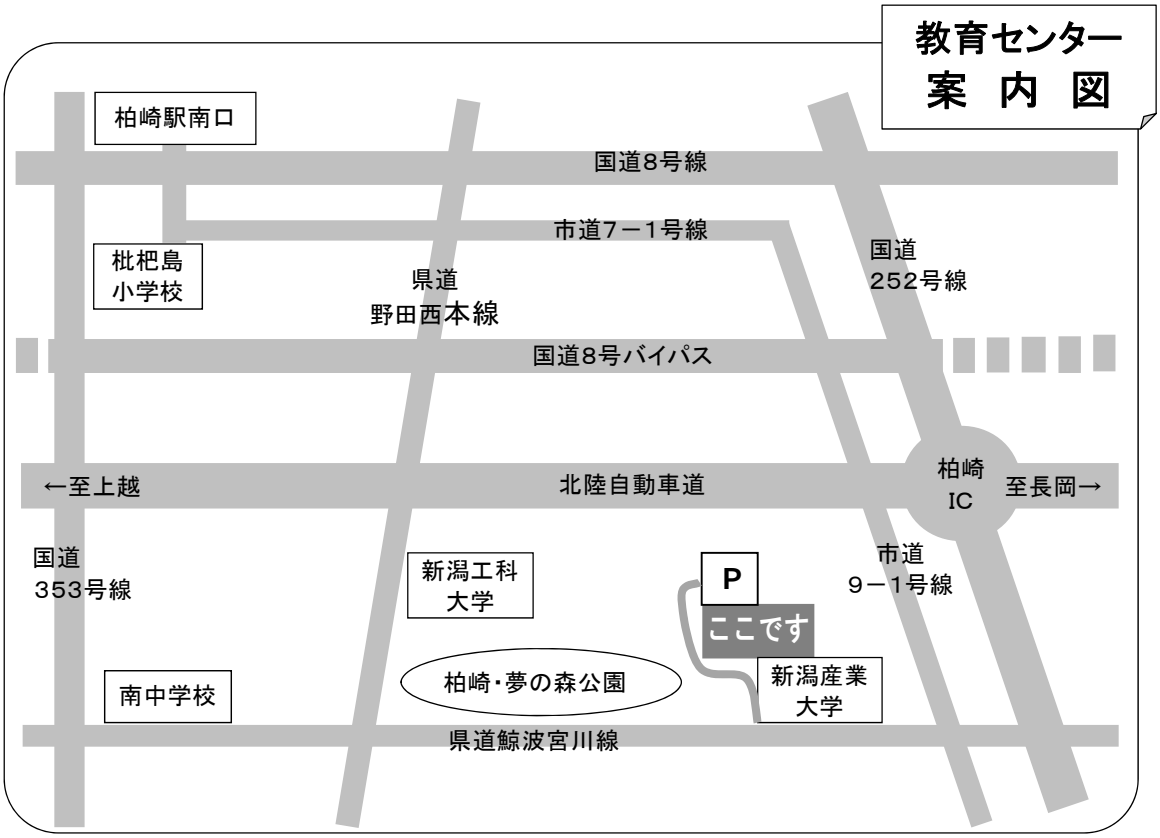
指導してくださる方の説明をしっかり聞き、粘土を練り、成型していきました。指先を器用に動かし細かな部分まで丁寧に作り上げる姿にびっくり！

２回目、模様や色を付ける段階でも、下絵をもとにはみ出さないように息を止めながら、慎重に筆を動かす子どもたちの姿が見られました。進めているものを見せ合ったり、どんな色がいいかと尋ねたり、お互いにかかわり合いながら仕事を進めていました。とてもほほえましい姿でした。

３回目、窯から焼きあがった作品を出しました。恐る恐る窯をのぞき、自分の作品を取り出す子どもたちの顔には、不安と期待が見られました。どの子の作品も破損なく仕上がっており、期待していた以上の出来に、子どもたちは大満足♪♪

造形活動は、指先の造形能力を鍛え、イメージを広げ、感性を磨くために、とても有意義です。

子どもたちには、無限の可能性があります。造形活動や調理活動など、無から有を生む活動を大切にして、感性を磨いていきたいものです。



〒945-1355　柏崎市大字軽井川４８０３番地２（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各２冊、高等学校の教科書各１冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができるほか、小・中学校の教科書は、貸し出しも行っています。

教育センター代表ＴＥＬ：０２５７－２３－４５９１
代表ＦＡＸ：０２５７－２３－４６１０
E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育研究班・情報教育ＴＥＬ：０２５７－２３－１１６８
E-mail：kec@kenet.ed.jp
教育研究班（科学技術教育）ＴＥＬ：０２５７－２０－０２１２
E-mail：kagaku@kenet.ed.jp
教育相談班（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ）ＴＥＬ：０２５７－３２－３３９７
E-mail：soudan@kenet.ed.jp
教育相談班（電話相談）ＴＥＬ：０２５７－２２－４１１５
青少年育成センターＴＥＬ：０２５７－２０－７６０１
E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成２５年１２月発